

# 国際 ICT 利用研究学会

## 第7回研究会

### 聴講・発表簡易マニュアル

#### 【抜粋】

- 会議 URL (会議30分前から利用可能) : 参加者にメールでお知らせします
- テスト用 URL : <https://zoom.us/test>
- 会議参加時はミュートの設定になっています
  - もしミュートになっていなければミュートにしてください
- ご自分の名前を[種別]氏名(所属)の順で登録してください  
(例) [発表]国際 太郎(国際ICT利用研究学会)  
[聴講]国際 次郎(国際ICT利用研究学会)
- 座長の指示が無ければ以下の要領で研究会を進めます
  - 発表は画面共有ボタンを押して音声をオンにして, スライド画面の共有+音声で発表
  - 質問は発表中でもチャットで随時募集
  - 発表後に座長がチャットに書かれた質問を発表者に質問
  - 音声での質問は座長が許可した方のみ
- (発表者の皆様へ) 各スライドに通し番号を付けておいてください

文責:株式会社カンファレンスサービス

Last Update: 2020年3月7日

ID: CS2020030702

## 1 はじめに

本研究会では ZOOM<sup>1</sup> を利用して研究発表および聴講を行います。情報処理学会第 82 回全国大会<sup>2</sup>や言語処理学会第 26 回年次大会<sup>3</sup>で ZOOM を利用していますので、既に利用したことがある方もいらっしゃるかと思いますが、本マニュアルでは初めて ZOOM を利用する事を前提としています。既に利用したことがある方は、不要部分を読み飛ばしていただくと幸いです。

## 2 準備

### 2.1 システム要件

本研究会で ZOOM を利用するにあたって必要な仕様は以下の通りです。

- インターネット接続—有線または無線ブロードバンド(3G または 4G/LTE)
- スピーカーとマイク—内蔵, USB プラグイン, またはワイヤレス Bluetooth

ZOOM は Skype に比べると通信量が低いことが知られています<sup>4</sup>。しかし、回線からある程度安定した帯域を確保できないと途切れることがありますので、事前に安定した回線を確保してください。なお、利用するネットワークによっては Web プロキシやストリーミングサービス利用の制限がある場合があります、これらの理由により快適に接続することが出来ない場合があります。また、3G/4G 接続時には通信料の制限や従量課金による課金額の増加にご注意ください。また、CPU の性能がある程度要求されるため、性能が低いと映像・音声の途切れが発生したり、操作に時間がかかったりすることがあります。

サポートされている OS は以下の通りです。

- MacOS 10.7 以降を搭載の Mac OS X
- Windows 7-10
- SP1 以降を搭載の Windows Vista
- SP3 以降を搭載の Windows XP
- Ubuntu 12.04 またはそれ以降
- Mint 17.1 またはそれ以降
- Red Hat Enterprise Linux 6.4 またはそれ以降
- Oracle Linux 6.4 またはそれ以降
- CentOS 6.4 またはそれ以降
- Fedora 21 またはそれ以降
- OpenSUSE 13.2 またはそれ以降
- ArchLinux (64 ビットのみ)

その他、細かい仕様や疑問点などありましたら、ZOOM ヘルプセンター<sup>5</sup>をご覧ください。

### 2.2 事前準備

ZOOM で参加するのに事前のアカウント作成は必要ありませんが、初回アクセス時のみソフトのダウンロードが必要になります。また、初回時にはオーディオのテストをしておいたほうが良いと思われます。特に発表者の方々

---

<sup>1</sup> Zoom Video Communications, <https://zoom.us/>, アメリカナスダック市場に上場中

<sup>2</sup> <https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/>

<sup>3</sup> <https://www.anlp.jp/nlp2020/>

<sup>4</sup> <https://webmobile.net/skype-zoom/>

<sup>5</sup> <https://support.zoom.us/hc/ja>

は会議前日までに準備して頂けるとスムーズに会議進行が出来るかと思いますので、ご協力の方よろしくお願いたします。

本研究会の会議 URL は参加者にメールでお知らせします。こちらは会議スタート日時の 30 分前からアクティブにする予定です。一度テストをしてみたい方は、<https://zoom.us/test> をご利用ください。研究会当日はテクニカルなサポートが出来ないことが予想されますので、お忙しい所恐縮ですがよろしくお願いいたします。

初回利用時には図1のように名前の入力を求められます。その際に、座長もしくは会議管理者がお名前を判別しやすくするために、命名規則を以下のように定めさせていただきます。お名前を入力後、「ミーティングに参加する」のボタンを押してください。

- 命名規則:[種別]氏名(所属)
  - ◆ (例1)[発表]国際 太郎(国際ICT利用研究学会)
  - ◆ (例2)[聴講]国際 次郎(国際ICT利用研究学会)
- 命名規則の詳細
  - ◆ 種別:発表,聴講のいずれかを記載してください
  - ◆ 氏名:お名前をフルネームで記載してください
  - ◆ 所属:所属を大学もしくは企業単位まで構いませんので記載してください

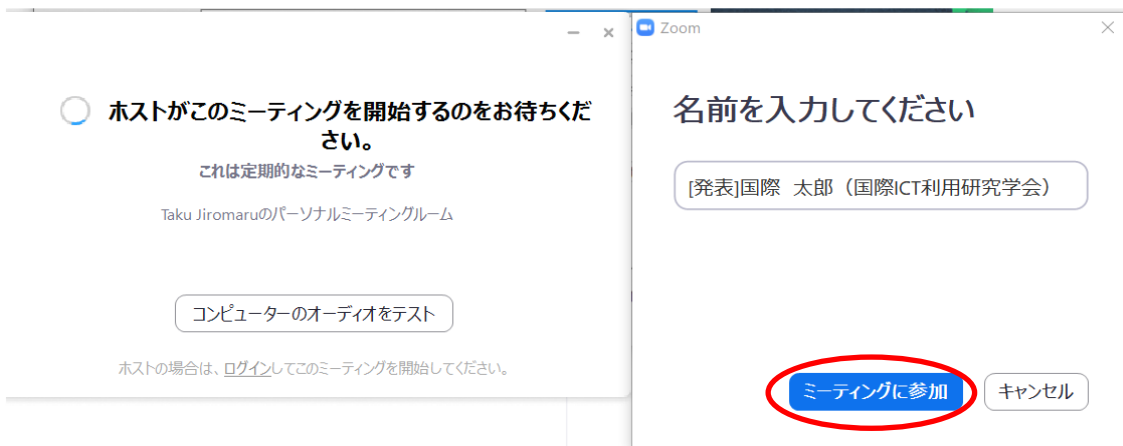


図1:名前の入力

図2は初回の方は名前を入力後,2回目以降の方は会議用のURLにアクセス後の画面です。赤で囲った部分をクリックするとコンピュータオーディオのテストを行うことが出来ます。音質などに不安がある場合は、マイク付きのイヤホン等をご利用いただけると音質の改善が期待できます。なお、同室で2名以上の方がご利用になる場合は、①プロジェクタなどの大画面に映し出して全員で見る②マイク付きのイヤホン等を利用してハウリングを避ける、のどちらかの手法を使用してください。

名前の変更は会議に参加した後からでも変更することが出来ます。図3の参加者のボタンをクリックすると、右側に参加者の名前が出てきます。自分の名前にマウスのカーソルを合わせると「名前の変更」というボタンが出てきますので、そちらをクリックして名前を変更してください。



図2:ダウンロード完了後の画面

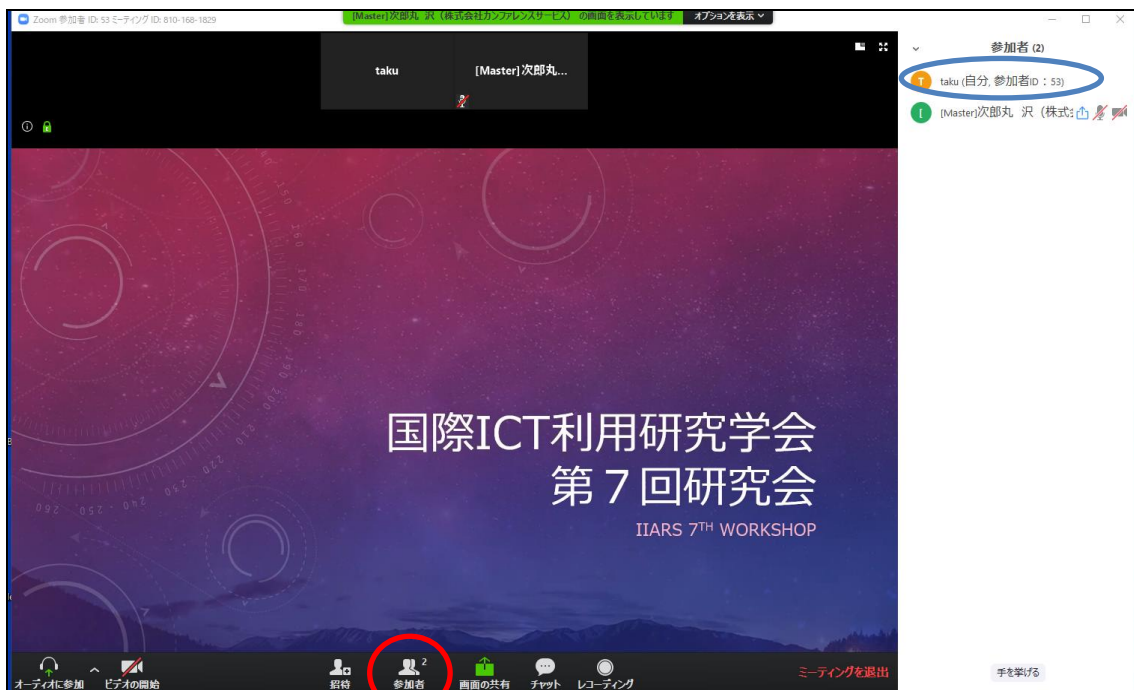


図3:会議参加後

### 2.3 参加後の基本仕様

参加後の基本仕様は以下の通りです。

- オーディオはミュートの状態になっています。
- カメラもミュートになっています。

もし、参加後にオーディオおよびカメラがミュートになっていない場合は、お手数ですがご自分で操作してミュートして頂きますようお願いいたします。ミュートされていない場合、管理者権限でミュートにすることがありますのであらかじめご了承ください。

## 2.4 発表者の皆さんへ

スライドに通し番号を付けて頂きますようお願いいたします。質問者が質問する時に「〇〇番のスライドで」と指定しやすくなります。

## 3 研究会の進め方

基本的には座長に一任いたしますが、座長より特に言及が無ければ以下の要領で進めます。

### 3.1 発表者の皆さんへ

機能上は自分自身の映像やホワイトボードをカメラで写しながら説明する方法も出来ませんが、ここではスライドを共有してもらいながら音声で発表する方法をご紹介します。発表者はあらかじめプレゼンテーションをするファイルを開いて待機しておいてください。座長より指示を受けてから「画面を共有」のボタンを押して下さい。



図4:画面を共有

その後、図5のような画面が出てきますので、**発表するアプリケーション**もしくは**使用するウィンドウ**を選択して、「共有ボタン」を押してください。図5では発表するアプリケーションを選択しています。

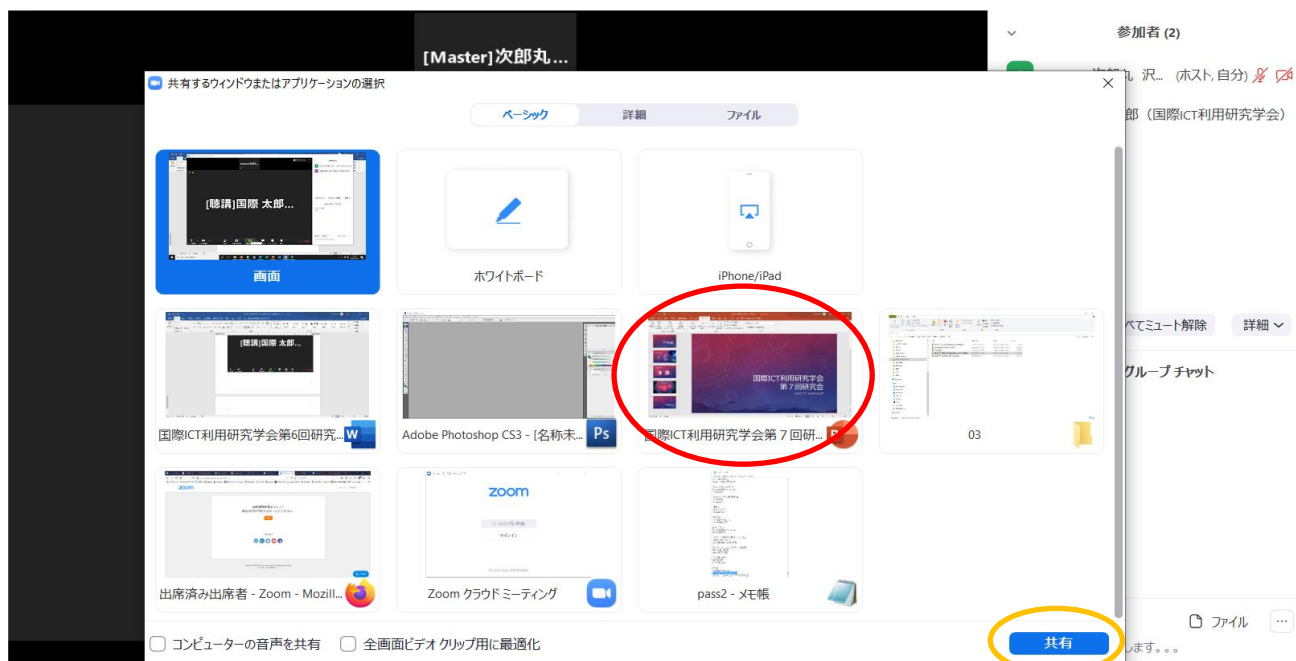


図5: 共有するウィンドウまたはアプリケーションの選択

その後、**使用するアプリケーション**を**操作して**発表してください。発表と質疑応答が終了したら、必ず「共有の停止」を押して共有を終了させてください。終了させないと次の発表者が画面を共有できません。もし共有を終了させなかった場合、管理者が共有を強制終了させることがあります。

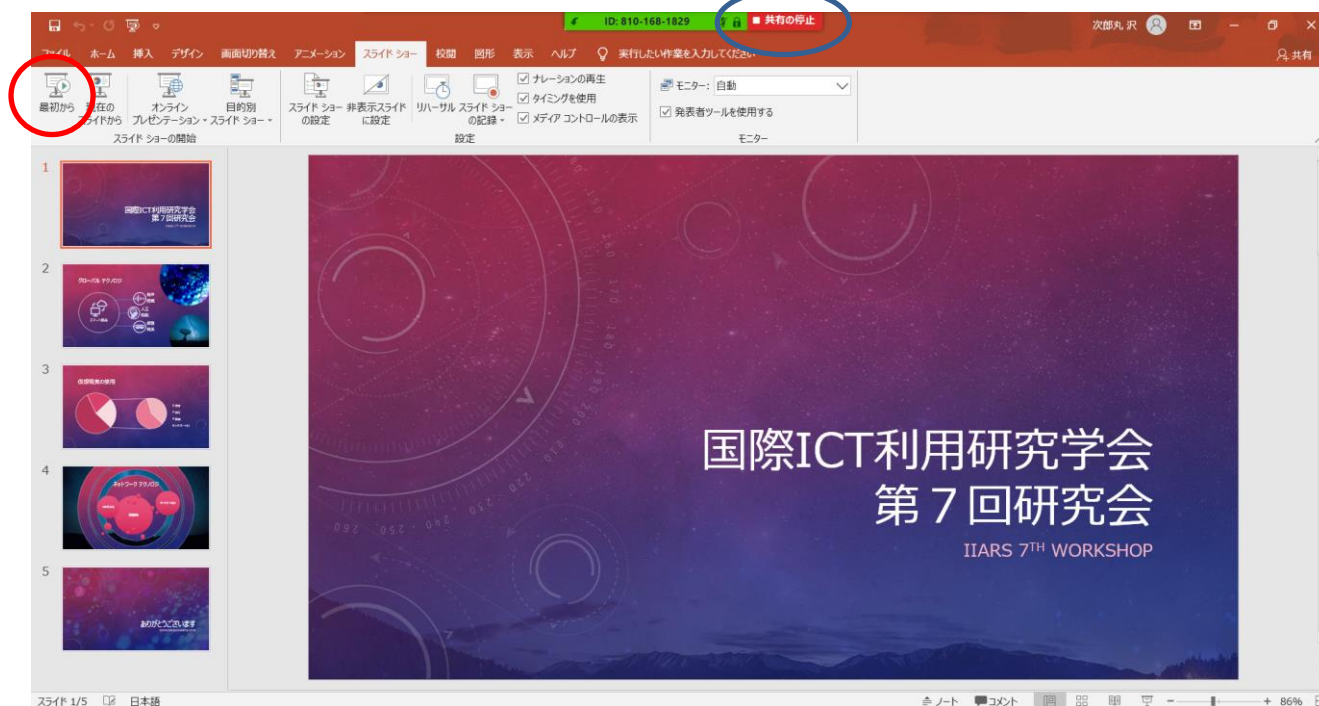


図6: 発表するアプリケーションを操作

### 3.2 参加者の皆さんへ

基本的にはチャットで質問もしくはコメントをします。発表中でも構いません（発表中にどんどん書き込んでおいた方が忘れずに良いと思います、座長も助かります）。発表を聞きながら質問をしたいと思ったら、図7の下部にある「チャット」ボタンを押して、右下に出てくる入力欄に質問内容を入力してください。もし、特定のスライドについての質問であれば、スライド番号も一緒に書いていただくと議論がスムーズに進みます。

なお、チャットの「非同期」である特性を生かすために、質問の前に[発表順の番号]を書いていただきますようお願いいたします。発表順の番号を記載することで、発表後であっても質問やコメントを書き込むことが出来ます。

（例）[1]スライド6についてですが、データの属性を教えてくださいませんか？

通常の研究会であれば、セッションの間の休み時間に議論が出来ますが、オンラインカンファレンスではその代替として非同期通信である利点を使って行きたいと思います。

もし、座長が音声による質問を許可した場合は、左下の「ミュート解除」のボタンを押してから質問してください。質問が終わったら再びミュートにして下さい。



図7: 質問時の対応

### 3.3 座長の皆さんへ

基本的にはお任せいたしますが、特にご希望が無ければ 3.1 や 3.2 のように発表者や参加者の皆様に行動してもらおうと良いと思われまます。

なお、発表時間につきましては公開されたプログラムをご確認いただきますようお願いいたします。

## 4 最後に

オンラインカンファレンス自体はまだ手探りである部分も多く、至らない点多々あると思われまます。参加者・発表者・司会の皆様と知恵を出し合いながら作り上げていきたいと思われまます。どうぞよろしくお願いいたしまます。なお、本マニュアルは情報処理学会第 62 回全国大会のオンライン開催に関する手引き<sup>6</sup>および ICSS/SPT 合同オンライン研究会実験<sup>7</sup>を参考に作成してまます。

---

<sup>6</sup> <https://sites.google.com/view/ipsj82taikai/manual?authuser=0>

<sup>7</sup> <https://www.iwsec.org/spt/e20200303.html>